

シートの目的

- ①家庭において協力し合える関係を築くためには何が必要か、自分の考え方や行動を振り返り、「気づき」を促します。
- ②質問やチェックリスト、データなどを活用し「自分はどうか、自分なら何ができるのか」を考え、実践を促します。

- ▶ POINT 1
家庭で協力し合える関係
- ▶ POINT 2
家庭での仕事の分担
- ▶ POINT 3
介護

進行方法

🕒 15分

1

今回の趣旨の説明とグループづくり・自己紹介をしましょう

【司 会】シートの目的を踏まえつつ、研修の説明をする。
【参加者】グループ(4~6人)内で、自己紹介をして交流を深める。

🕒 10分
表面

2

イラストを見て、家庭における男女共同参画について考えましょう

【参加者】イラストを見てどう思うのか、何を問題と感じるのかななどを、個人(またはグループ)で考える。

例

- 女性一人に家事負担がかかっている
- 話し合ってお互いに協力し合える関係を築いていくべき

🕒 20分
表面

3

各自「あなたの考え方をチェック!」に記入しましょう

【参加者】自分の考え方や、実際の家庭での行動について考える。
【参加者】グループ内で意見交換をする。

ねらい 家庭における自分の考え方や、実際の家庭での状況について振り返る。

🕒 20分
裏面

4

各ポイントごとに、自らの家庭での役割分担を振り返りましょう

(POINT 1) 家庭では協力して、家事・育児・介護をしていますか?

【参加者】グラフを読み、男女の違いについて原因とその改善策を個人(またはグループ)で考える。

原因例

- 自由時間があっても男性は家事等に時間を使わない

改善策例

- 男性も家事等に積極的に取り組むような意識づけをする必要がある

ねらい 家庭生活は、協力し合える関係を築くことが必要であることを理解する。

🕒 25分

5

(POINT 2) 家庭での仕事の分担について話し合っていますか?

【参加者】家庭での自分や他の人の役割について書き込み欄に記入する。
【参加者】グループ内で意見交換する。

ねらい 他の方の役割を知り、協力や見直しの行動を促す。

例

- 誰か一人に偏っている
- 均等である
- 自分(またはほかの人)に役割がない

どのような役割分担の状態であっても、押し付けた役割分担になっていないかを考えさせる。

🕒 25分

5

(POINT 3) 介護は女性がするものと思いませんか?

【参加者】グラフを読み、高齢者(要介護認定者)が増加している現状を理解する。
【参加者】介護を協力して行うために必要なことについて個人(またはグループ)で考える。

ねらい 誰もが担う可能性のある介護の現状と周囲のサポートの大切さを知る。

メモ

核家族化・単身世帯の増加などの影響で、男性介護者も増加している(全体の約3割)

例

- 介護についての基本を知る
- 介護をサポートしてくれる制度を利用する
- 日頃の地域での人間関係づくり

まとめましょう

- ◆この研修を通して気づいたこと・今後の抱負などを、各自または各グループでまとめて発表する。
- ◆時間があるようなら、グループや全体で意見交換などの交流を図る。

進行・啓発にあたっての留意点など

- ◆家庭・役割のあり方は各家庭それぞれ。問題なのは、役割を「男だから」「女だから」と思い込みだけで勝手に決めてしまっていることです。
- ◆「まとめ」では、今後の行動や目標などについてもふれるようにしましょう。